

ヤマチク

企業名：株式会社ヤマチク
所在地：熊本県玉名郡南関町久重330
事業者：山崎彰悟
設立：1991年
サイト：<https://www.hashi.co.jp/>

竹の箸が、社員とまちの可能性を発信する。

伴走支援デザイナー：佐藤かつあき



アイデンティティ/事業を突き動かす内発的動機

「頑張った人が必ず報われるビジネスモデルを構築する」専務取締役・山崎彰悟氏が大切にしている言葉です。熊本県南関町にある「箸屋」として、もともと箸のOEMを行っていたヤマチクは、現在ではオリジナルブランドや実店舗「拝啓」などを展開しています。山崎氏が関西の大学を卒業後、大阪でシステムエンジニアとして働き、外の世界を体験してから家業に戻った時、社員が高度な技術を持っているにも関わらず低賃金で働いていること、また自分たちの仕事に誇りを持っていないことにもどかしさを感じたことが、現在の事業を展開するきっかけとなりました。一貫して自分たちの付加価値と誇りを引き出すことを重視し、展開するブランドやファクトリーショップ、WEBサイトや会社案内、ブランドムービー等を活用して、社外に発信し続けています。



ヤマチクの製造風景

ビジョン

箸といえば「竹」。箸のスタンダードとして、竹の箸が多くの方々に認知され、選ばれること。そして、それを手掛けているヤマチクの認知度も高まり、南関町の自慢になること。これらは、山崎氏が見据えているビジョンです。ヤマチクで新たな取り組みを行うことで、南関町でチャレンジする人や自社の雇用が増え、まち自体に活気が溢れていく。そのような意識を持って事業に取り組んでいます。

強みや特徴

純国産の竹箸を自社で一貫生産ができる日本唯一のメーカーであるヤマチク。さまざまな箸のOEMを行う中で、技術を高めてきたことはもちろん、できることの引き出しが増えました。また、全ての社員を巻き込んで一丸となってプロジェクトに取り組むことで、その規模感を広げることができる点も大きな強みの1つです。その強みを活かして、ヤマチクにしかできないプロダクトとして生まれた自社ブランドが「okaeri」です。



ヤマチクで働く社員

経営課題

ヤマチク最大の課題は、箸のOEMが主な収益源となっていたため、完全に下請け企業となり利益が全く出ない状態であったことと、働いている人たちが仕事に誇りを持っていないことでした。OEMでは自分が作った箸が良いのか悪いのか、どこで使われる箸なのか、実感を持つことが難しく、社員たちが子どもから「何の仕事をしているの?」と聞かれた時に何も答えられなかったと語る山崎氏。ヤマチクの素晴らしい仕事が世の中に知られていないことを社会的損失と感じ、さまざまな取り組みを始めます。まずは高い技術を蓄積し、ヤマチクの未来を作る人材を確保するために、新卒採用を行いました。そして、既存の社員たちとも目線合わせをしながら、生み出した商品への責任や可能性を意識してもらうことが大切だと感じ、OEMから脱却するために自分たちのブランドや世界観を発信しようと思ったタイミングで、デザイナーの佐藤かつあき氏と出会います。

デザイン経営での解決策

創業約60年の歴史の中で、自社商品や自分たちの世界観を発信することは、初めての試みでした。一番重視したことは、社員たちを巻き込むこと。「箸屋の三代目とデザイナーがかっこいい新商品を作った」では根本を変えることは難しいと思い、全ての社員を巻き込んだと言います。ブランドのアイデアセッションというよりも、商流や問屋との関係性、掛け率など、自分たちのビジネスを知ることから始めました。また、一緒にさまざまな展示会を見に行ったり、中川政七商店やブランディングの本を対象とした読書会や勉強会を開催したり、社員たちとの共通言語を作り、自社ブランドの開発へ取り組みました。佐藤氏とは2017年に会社案内の制作やWEBサイトのリニューアルを行ったことに始まり、共に自社ブランドの立ち上げを行ってきましたが、箸という「プロダクトデザイン」はデザイナーの力を借りず、ヤマチクの社員の手によって行いました。その結果、生まれた自社ブランドが、軽くてシンプルな竹の箸「okaeri」です。

アウトプット



自社ブランド「okaeri」



ファクトリーショップ「拝啓」外観

これから

自社ブランド商品は全国で展開するショップやブランドに卸し、認知度の向上はもちろん、売上の拡大にも大きく貢献してきました。今では自社商品の売上は会社全体の60%を占め、2023年には自社工場横にカフェを併設したファクトリーショップ「拝啓」をオープン。今までにはお客様に商品を届けることに特化してきましたが、これからはお客様に来てもらう職場づくりにも力を入れ、ヤマチクの箸を求めて南関町を訪れる方が増えて欲しいと展望を語ります。